

彼岸の華は
奈落で咲く



前回のあらすじ

完堕ちし
リコリスドールとなった
千束と共に
マスターである虎杖に
奉仕するたきな

その最中
リコリスドールへとなった時の事を
話すよう命じられ
たきは自らが堕ちていく様を
語り始めるのであった

意識を失っている間に
注入されたナノマシンにより
抵抗する術を失った
たきは――

虎杖との初めてのセックスで
ナノマシンによる
感度上昇の効果もあり
未知の快感に戸惑いつも
絶頂させられてしまう

その後も虎杖達による
調教は続き――

少しずつ――
しかし確実に
たきなは変えられていく

しかしその意志は
もはや風前の灯

たきなが快楽に屈する
瞬間は迫りつつあった……

何とかリコリスとしての
矜持を保つのであった

その後もアナルを犯され
激しく絶頂させられるも――

さてそれでは
続きを聞かせて
貰いましょうか
タキナ

はい♡
マスター

いよいよタキナが
堕ちるとこだね
楽しみ♡

では…
マスターにケツマンコを
犯していただいた後—

虎杖にアナルを犯された後
私にはオナニーが出来ないよう
貞操帯が付けられました

あぁッ

貞操帯の中には
バイブとアナルバイブ

それらは時折振動し
私のオマンコとアナルを
刺激してきます

カチャリ

フグフグ

ただし決して
絶頂できない強さで

はぁ
はぁ

そうして
数日後—

なんで……っ

たった一週間——
余計な事なんて
考えないようにしていれば
何も問題ない
そう思っていました——

もっと
動いてよ……

しかし思い出したように
振動を繰り返すパイプは
快楽の味を思い出させ
その度に私の手は股間に
伸びてしまいます

わり

わり

昨日は部屋を
去ろうとする男を
呼び止めようと
してしまっていました

あ……

それもまた何度も犯され
絶頂した時の記憶を
思い出させ
身体を疼かせるのです

また食事と排泄の世話のため
定期的に部屋を訪れる男達は
その都度『奉仕』を求めてきました

あの時私は
何を言おうと
していたのでしょうか

っ……

パイプも男達も
私を満足させて
くれる事はない

カチ

カチヤ

何とか自分で
慰めようとしても
それすら叶わない

ふと顔を上げると
鏡には無様に股間を
まさぐる自分の姿

快樂に逃れる事を許されず
目を逸らそうとしていた
自分の現状を
直視させられ続ける――

こんな生活何時まで
続くんだろう
今何日目だっけ
一週間まで後何日――

私はもう――

性的興奮度
高水準で推移しています

くくっ
そろそろ限界
といったところですか

完全に堕ちた
たきな君の姿が
楽しみです

失礼しますよ
たきな君

虎杖：
今日はアナタですか

はあ・・・早く
出してください

随分話が早いですね
そんなに
待ち遠しかったですか？

別に・・・
さっさと
終わらせたいだけです

くくつ
そういう事に
しておきましょう

ああ・・・♡

ああ・・・チンポお♡
これえ・・・♡
これをー

これをオマンコに
挿入したらー
アナルに挿入したらー

どうしました？
そんなにジツと
見つめて



ううるさいっ



んっ

ああっ...
これダメっ



頭
クランクランするっ



オマン「疼いて...

カリ

カリ

□なんかじゃなくて
こっちに...



じゅる

じゅる



欲しい♡

カリ

カリ

欲しい♡

オマンコにっ
ケツマンコにっ
チンポ欲しいっ♡

くくっ
フェラも本当に
上手くなりましたね
ですが――



股間を弄るのに
気を取られて
少しおさなりに
なっていないんかっ

ん？！

もっと喉奥まで
使いませんか



喉マンコ
犯されるっ♡

グッ

グッ

グッ

グッ

モノ扱いっ
オナホ扱いされてっ

この人のモノだって
理解せられるっ♡

グッ

グッ

グッ

そろそろ射精しますよ
こぼさず飲みなさい



千んぽっ
千んぽ下さいっ

もう無理なんです
これ以上我慢できないっ

まんこにっ
ケツまんこにっ
千んぽ下さいいい♡

くくっ
その言葉の意味
分かっているのですか？

はいっ♡
牝奴隷でもリコリスドールでも
何にでもなりますっ♡
いえならせて下さい♡

どのような命令も改造も
喜んで受け入れます♡
ですからどうか虎杖様の
ためだけの牝にして下さい♡

そして思い切り
イかせて欲しいと

はい♡

いいでしょう
ようやくたきな君が
素直になった事ですし
たっぷり可愛がって
あげましょう

ああ…♡
ありがとうございます♡

千束…ごめんなさい…
私すっかり
変えられちゃったみたい…♡
でもこんな気持ちいい事
知っちゃったら…
しょうがないよね♡



ガッ

ああ……♡
早く♡
オチンポ下さい♡

全く……
ほら尻をこっちに
向けなさい

はい♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ……

随分と
気持ちよさそうな
喘ぎ声ですね

だってえ
ずっと焦らされて
もうオマンコ
限界でしたからあ♡

オマンコ
ズポズポされる度に
軽くイっててえ…♡

バイブなんか
比べ物にならないくらい
気持ちいいでしゅう♡

んあ♡

ぬちゅっ

ズポズポ

でしょうねえ
ほら鏡をのぞきなさい

あはあ♡
私すっごくいいっちな顔
してる♡

こんな顔
千束達には
見せられません♡



何を言っているのですか
これ以上の下品な顔
変態的な行為であっても
喜んで披露するような牝

アナタは
そういったモノに
なるのですよ

そうでしたあ♡

あ♡

私は千ンポ欲しさに
土下座するような
クン牝♡

んあ♡

ズツッ

ズツッ



リコリス失格の
私はあゝこれから
虎杖様のためだけに
生きていきますう♡

あほ♡

あ♡



虎杖様のための
ドスケベ牝にいい♡

んあ♡

や♡あほ

んんう♡

あ♡

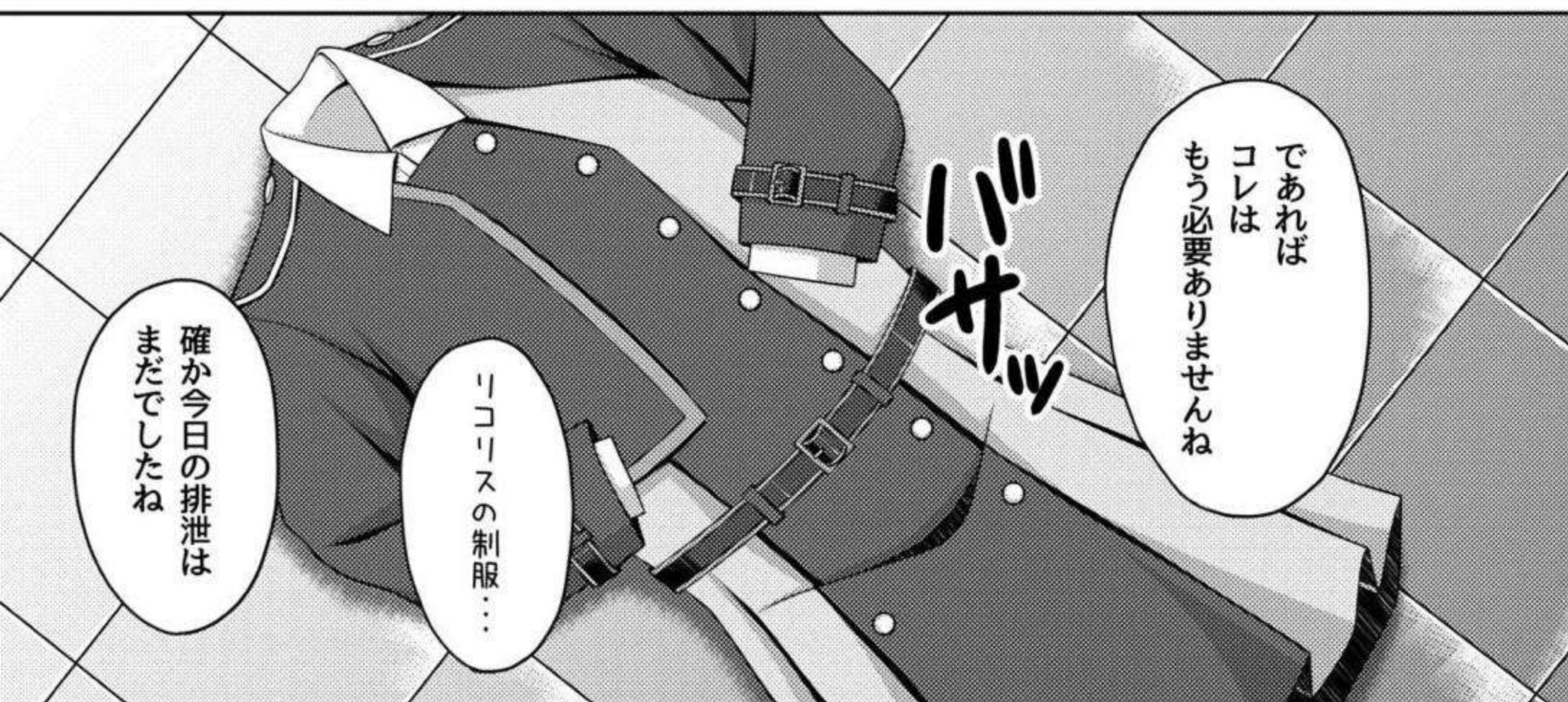
す♡いの
くる♡

ズツッ

ズツッ

ズツッ





くくっ
いいですね

うあ

い

では私も
手伝って上げましょう

あ

あ

あ

たきな君はアナルも
好きだったでしょう？
いかがです？

はい
気持ちいい

あ

あ

あ

あ



おっ♡

おあん♡

ああ…♡
千束ごめんなさい♡
千ンポ欲しさに
皆を裏切った上…

おしっこしながら
ケツ穴で感じちやうような
クン牝ごめんなさい♡

でもっ
虎杖様のモノに
新しい自分に
生まれ変わるって
思ったら…♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡

ぬちやう

ぬふッ

ぬふッ

その通り
この後たきな君は
リコリスドールとして
生まれ変わる

ドスケベな牝に
相応しい肉体を有し
それを淫靡に引き立てる
『制服』に身を包む自分

その姿を想像しながら
井ノ上たきなとして
最期の絶頂を味わいなさいっ

ズン
ズン
ズン

ズン

ズン



は いっ ♡ あっ ♡

培養液の注入完了

ナノマシン
追加注入用チューブ
ナノマシン
活性化用ケーブル
共に接続完了

ゴポッ

改造後肉体ステータスの
入力完了

ゴポッ

リコリコスドール化
改造処置
準備完了しました

あの……こちらの
数値なのですが……

何か問題でも？

あまりに大きな
肉体変化は精神面に
悪影響を及ぼしかねません
あまり推奨は……

今の彼女であれば
問題ないでしょう
それに彼女たつての
希望ですからね

了解しました
それでは
改造処置開始します

身体に繋がれた
チューブから
何かが流れ込んでいるのを
感じる

身体の中で何かが
致命的に変えられていくのを
感じる

びびり

そこにあるのは
恐怖ではなく――

期待
そして快樂

大きく肥大化していく
胸が目に入り
思わず笑みがこぼれる

リコリスとして活動するため
鍛えてきた肉体が
どんどん改造されていく

リコリス

すらっと引き締まった
肉体ではなく――

シシシ

今の……そして
これから私の私に相応しい
ドスケベな肉体へと



脳波制御バイザー
装着完了

必要知識のインストール
及び思考矯正プログラムを
開始します

かき

そう身構えなくて
大丈夫ですよ
たきな君

必要ないとは言ったのですが
スタツフが心配性でね
何君は何も変わりませんよ
何せもう既に君は致命的に
変わって
終わっているのですから――

思考矯正？洗脳？
私が私でなくなる？
それは嫌だっ
私は私のまま
虎杖様のため



虎杖様の声に
安心したのも束の間
それは唐突に來た

膨大な知識の波
男の喜ばせ方 性的知識 戦闘技術
既に知っている事 未だ知らない事
それらが全て
自ら経験した事かのように
脳に流し込まれる

頭の中から
肉体の隅々まで
新しい何かに変えられる――



肉体の改造及び
必要知識のインストール
完了しました

思考矯正プログラム途中終了
必要なしと判断されました

くっくっ
でしょうね

ああこれで
井ノ上たきなは
完全に終わったんだ♡

それでは
最終確認を行います
被検体井ノ上たきな
以下十の設問に
解答してください

第二設問
アナタの使命は？

所有者様の命令に従う事
命令を完全に遂行する事です

第三設問
アナタの倫理観に反する命令にも
従う事ができますか？

はい
所有者様の命令は
全てにおいて優先されます

その前に
私の名前はタキナ
リコリスドール01、タキナです
井ノ上たきなではありません

はい
第一設問チェック

第四設問
アナタの喜びは何ですか？

所有者様の命令に従う事
それこそが私の喜びです

第五設問

最後の設問です
アナタの所有者は？

虎杖様です♡

設問の回答
全て問題なし

リコリスドール化
改造処置
完了しました

リコリスドール用
強化スーツ起動

脳波制御バイザー
脱着

強化スーツのロックは
どうしますか？

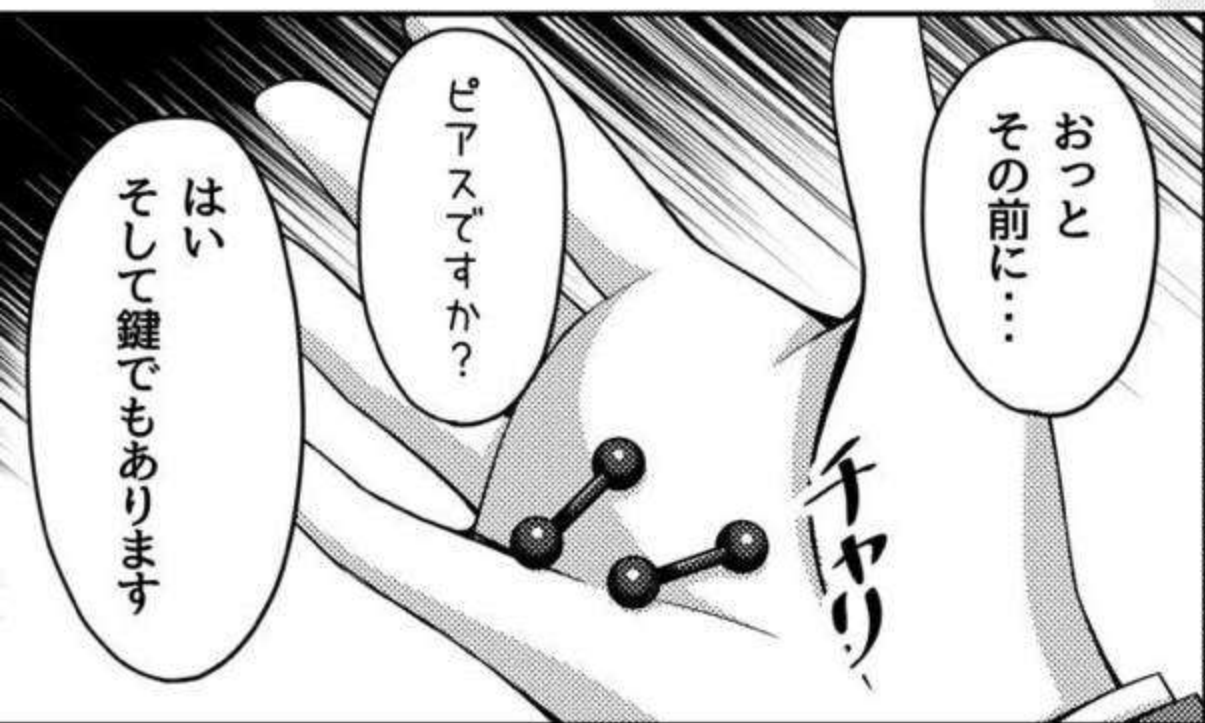
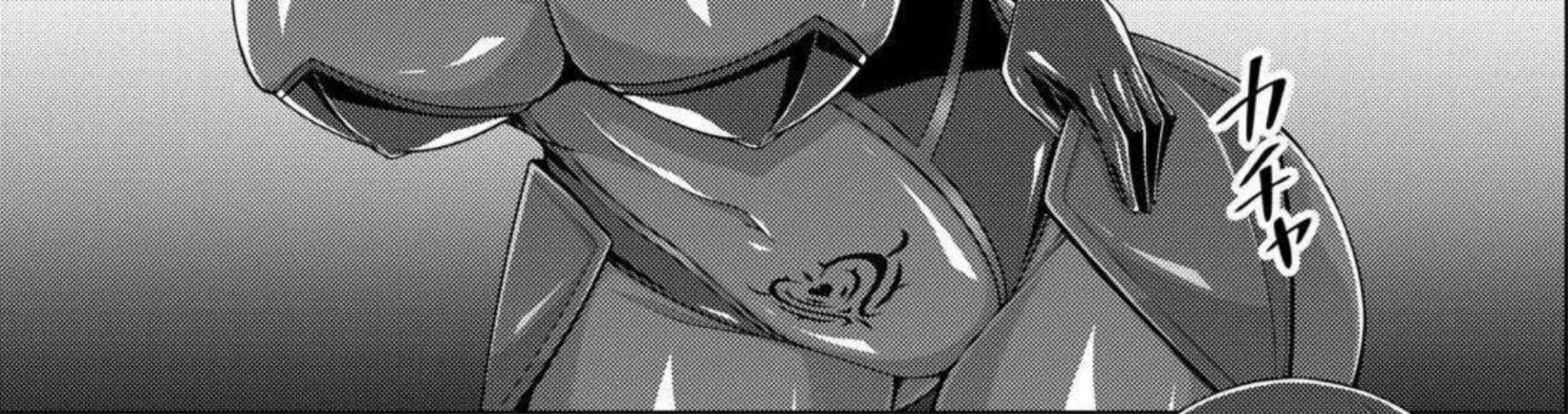
そこらは
私の方でやりましょう

了解しました

培養液の
排出を開始

リコリスドール01
タキナ 覚醒します

LycorisDoll.01



おっと
その前に…

ピアスですか？

はい
そして鍵でもあります



これをつけると
そのスーツは二度と
脱ぐ事ができなくなります

つけても
よろしいですか？

はいっ♡
もちろんです



私は
マスターの所有物

それは一生
変わることは
ありません

それに…
マスターのモノである証を
さらに頂けるといのは
とても光栄です♡



ほう
見違えましたね

マスター♡

この度は
このような素敵な身体に
改造して頂き—



はいっ♡

ですが
その前に改めまして――

この度はこのような
素敵な身体に改造して頂き
ありがとうございます♡

精神も肉体も
リコリスドールとして
相応しい姿に
生まれ変わる事ができました♡

今後はリコリスドール01
タキナとして
マスターのため誠心誠意
尽くすことを誓います♡

マスターこそが
私の全て♡
どうかご命令を♡
どのようなご命令でも
喜んで従います♡

――以上となります

へえー
あのたきなが土下座で
千ン媚びするなんてねえW

だって…♡
千ヤトだって
分かるでしょ♡

まあねー♡

ねえマスターあ
私も全力で千ン媚びすれば
今からオチンポ
頂けますかあ？

くくっ
それも見てみたいですが
アナタ達には
そろそろ次の仕事を
やって貰おうと
思っています

よろしいですね？

はっ!!

リコリスドール01
タキナ

リコリスドール02
千サト

マスターのため
全力で働かせて頂きます!!

彼岸の華は
奈落で咲く

発行：Imitation Moon
発行日：2025.8.17
印刷：STARBOOKS様
kaiokaasagiri@hotmail.com
<https://twitter.com/narumiLy>

※18歳未満閲覧禁止
画像の転載、web等でのデータ共有は禁止いたします



2025 summer
ImitationMoon